

令和5年度 鳥取県 DWAT 先遣隊・コーディネーター研修 開催要項

趣 旨

「鳥取県災害派遣福祉チーム（以下、DWAT という。）」では、先遣隊要員を登録しています。先遣隊は発災早期に現地へ派遣され、被災状況等の情報収集及び報告・福祉支援の必要性の見立て・被災市町村等関係機関との連絡調整が大きな役割です。

本研修会では、先遣隊メンバー及び本部機能を担う職員等が連携し、被災地の状況から DWAT 活動の見立てを行い、DWAT チーム員が円滑に活動できるよう、先遣隊要員及び本部員の資質向上を図るとともに、連携体制の強化を図ります。

1. 日 時 令和5年10月16日（月）10：00～17：00（受付9：30～）

2. 会 場 特別養護老人ホームはごろも苑「はごろもホール」

（〒682-0712 湯梨浜町東伯郡湯梨浜町上浅津 407 TEL: 0858-41-1701）

3. 内 容

研修プログラム（予定）

○チームビルディング

○講義：DWAT 先遣チーム・コーディネーターの機能と役割

○実践報告：DWAT 先遣チーム・コーディネーターと DWAT のチーム運営
（運営経験者からの実践報告）

報告者：社会福祉法人 邑友会 特別養護老人ホームやまつつじ

理学療法士 南川 基治 氏

- ・求められる役割と視点とマインドについて
- ・DWAT のチーム運営の実際
- ・災害発生時 DWAT が円滑に機能するために平時に求められる取組み など

○講義：被災地での先遣・コーディネーター活動について

○演習：ロールプレイ前半

○講義：避難所開設期間の見極めに必要なアセスメントとは

○演習：ロールプレイ後半

○まとめ

4. 対 象 者

- DWAT 先遣隊名簿掲載者 ほか

5. 講 師



一般社団法人FEEL Do(フィールド) 代表理事 兼原 英文 氏

国際 NGO のコミュニティ・オーガナイザーとして東南・南アジアの農村で活動。その後独立し、長年フィリピン農村の経済的貧困層や山岳部のしょうがい児・者の自立支援活動に取り組んできました。阪神・淡路大震災後に兵庫県社会福祉協議会に入社。震災復興ボランティア活動の支援や企業のCSR活動推進、福祉学習推進、ボランティア・コーディネーター養成等を担当しました。

その後、神戸・阪神NPOコンソーシアム事務局長等を経て、現在、一般社団法人FEELDo代表理事として防災、地域福祉、市民活動、まちづくり、国際協力、災害支援などに取り組む北海道、青森、山形、宮城、大阪、岡山、鳥取、沖縄の10名理事・社員・パートナーと共に、様々な主体が取り組む福祉コミュニティづくりを応援しています。

R4年度は、群馬・神奈川・滋賀・奈良・大阪・鳥取・香川・沖縄の災害福祉支援ネットワークによるDWAT養成や、社会福祉法人・社会福祉協議会の事業継続計画策定支援に取り組んでいます。

タイ、フィリピン、カンボジア、宮城県の現地NGO/NPOと連携し、子どもたちの健全な成長を支えるコミュニティづくりを進める一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン(C4C)代表理事。

1964年生まれ、北九州市出身、東京農業大学農学部農業拓殖学科卒

6. 申込方法 下記URLまたはQRコードよりGoogleフォームにアクセスいただき、必要事項を御入力の上、お申込みください。

【Googleフォームの申し込みURLとQRコード】

<https://forms.gle/LmcRNmJsvYXmdTcx8>



7. 申込期限 令和5年10月10日(火)まで

8. 主 催 鳥取県、(社福)鳥取県社会福祉協議会

9. 後 援 (一社)鳥取県社会福祉士会、(一社)鳥取県介護福祉士会、鳥取県介護支援専門員連絡協議会、鳥取県社会福祉施設経営者協議会、鳥取県老人福祉施設協議会、鳥取県老人保健施設協会

○マスクの着用をお願いします。

○発熱や咳、鼻水など風邪症状のある方は参加をお控えください。

○当日、受付にて検温させていただきます。体温が37.5℃以上の方は参加できません。

お問い合わせ先・申込先

鳥取県社会福祉協議会 災害福祉支援センター(担当:永見・白鳥)

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 鳥取県社会福祉協議会内

TEL 0857-30-6367 FAX 0857-59-6341

メールアドレス saigai-c@tottori-wel.or.jp